家庭クラブ新聞

HR掲示用
第２号
令和５年８月４日発行

2023 米粉・米粉パスタコンクール　作品募集

テーマ「米粉・米粉パスタを使った私の自慢料理」

～米粉・米粉パスタと身近な食材を使ったオリジナル料理を考えて、地産地消と米粉の認知や普及に貢献しよう～

地産地消、米の利用促進と水田保護による環境保全のために米粉の認知、普及活動を進めています。あなたのひらめきやアイデアを生かしたオリジナル料理を募集しています。優秀な作品は校内展示し、協賛団体からの特別表彰があります。皆さん奮ってご応募ください！！！

賞	セキのうりん賞	１名	ＰＬＵＳ賞	１名
	ＪＡめぐみの賞	１名	ぶうめらん賞	１名
	中部学院大学短期大学部学長賞	１名	関高ＦＲＨ賞	１名

関高家庭クラブでは、「持続可能な社会の構築」を目指し、水田存続のために米の消費拡大・米粉普及活動に取り組んでいます。関市内で米粉の利用促進を進めている農業生産法人「PLUS」や「JAめぐみの」、地元情報誌「ぶうめらん」、関市農林課、中部学院大学短期大学部とともに、地域と連携しこの活動を進めています。米粉・米粉パスタ料理コンクールは、関高生に米粉や米粉パスタを使った料理をする機会をもって欲しいとの願いから、2018 年より始まり今年で6回目を迎えました。

７月３日（月）に「JAめぐみの」様、農業生産法人「PLUS」様、「関市農林課」様をお招きし、研究助成式を行いました。

関高生に商品券や米粉

夏休みにレシピ考案　コンクールで競う

夏休みに米粉を使ったレシピを考える関高校（関市桜ケ丘）の二年生に、ＪＡめぐみの（同市若草通）と農業生産法人ＰＬＵＳ（同市千疋）が商品券や米粉製品を贈った。（秋田耕平）

ＪＡめぐみのと農業生産法人ＰＬＵＳ贈呈

同校では二〇一八年から米粉を使ったレシピを考案し、校内で競う「米粉・米粉パスタ料理コンクール」を開く。本年度は家庭科を学ぶ二年生でつくる家庭クラブ員のうち、二百十二人がコンクールに応募する。

ＪＡは同市小屋名の直売所「とれたひろば関店」で使える商品券を二人五百円分贈ったほか、昨年度のコンクール入賞レシピを集めたレシピ集も作った。ＰＬＵＳは米粉六十七キロと、米粉パスタ一四・五七キロを提供した。

三日に同校で贈呈式があり、代表生徒二人が目録を受け取った。家庭クラブ委員の都築穂羽さん（二）は「より多くの人に米粉のよさを知ってもらい、考えるきっかけになれば」と話した。

商品券や米粉製品を受け取る生徒ら＝関市桜ケ丘の関高で

中日新聞 2023.7.6

６年目となる今年度は、212 名の生徒がコンクールに参加します。家庭クラブの研究が充実したものになりますよう、研究助成を有効に活用させていただきます。また、米粉の普及を目標にして活動している関高校米粉倶楽部では、子ども食堂でカフェを行う計画を進めています。農業生産法人PLUS様からは、カフェで提供する食品の試作として使用する米粉と米粉パスタを助成していただきました。関高校米粉料理コンクール等、私たちの研究活動へのご協力、本当にありがとうございます。

家庭クラブ　担当　2年　都築　穂羽

家庭クラブ新聞

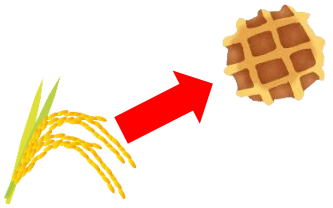
HR掲示用
第３号
令和５年８月４日発行

米（こめ）っこカフェ開催に向けて　7月29日（土）子ども食堂　圓通寺

私たちの活動の一環である米粉料理のレシピ開発・認知、普及活動として、米粉を使用したお菓子の提供を行い、 子ども達やそのご家族、また、地域の方々に米粉のおいしさや手軽さ、米粉活用のメリットを伝えたいと考え、この企画を考えました。今回は、関市小屋名の「子ども食堂　寺小屋　友心庵（圓通寺）様にて実施されるフードドライブのイベントに合わせ、カフェを実施し、米っこワッフルとドリンクをセットで提供させていただくことになりました。

食料自給率UP!!

米粉ワッフル



米

米粉の利用は食料自給率の向上につながります

米っこワッフル

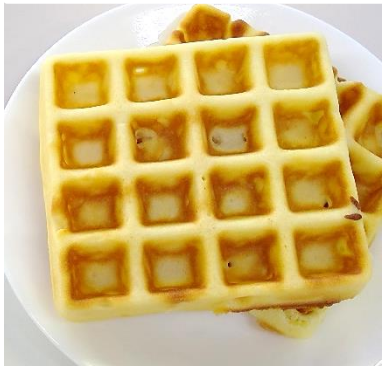
ドリンク　ウェルカムメッセージ

家庭クラブ新聞

HR掲示用
第４号
令和５年８月４日発行

米（こめ）っこカフェ開催に向けて　7月29日（土）子ども食堂　圓通寺

カフェ開催に向けて、打ち合わせと試作を何度も重ね、準備を進めてきました。ここに至るまで大きな変更が何度もあり、カフェという一つの活動を創り上げることの難しさを感じています。しかし、やりがいを感じているのも事実です。まだまだ課題はたくさんありますが、一つずつ乗り越えて少しでも多くの人に米粉の良さを知ってもらえるような活動にしたいと考えています。



【メニューの試作】

【試食の様子】

【試作と評価】

【会場打ち合わせ】

【接客練習】

Think Globally. Act Locally.
米粉で守る人・食・環境

SEKI 米粉倶楽部
米粉で、食料自給率アップ！

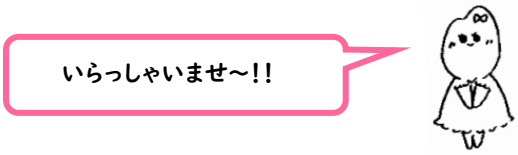
家庭クラブ新聞

HR掲示用
第５号
令和５年８月４日発行

米(こめ)っこカフェ開催　　7月29日（土）子ども食堂　圓通寺

当日は、大変暑い一日でしたが、たくさんの方が私たちのカフェにも足を運んでくださり、米っこワッフルとドリンクを 100 食、ご提供することができました。今回の経験から、目的をもって何かを創り、一般の方に提供することの大変さを知るとともに、その楽しさややりがいを感じることができました。

スーパーで米粉の商品を手に取る機会も増え、「米粉の魅力」や「食」への関心を今まで以上にもてるようになり、「食の豊かさ」と社会で起きている「食の課題」についてこれからも考えていきたいです。



家庭クラブ新聞

HR掲示用
第６号
令和５年８月４日発行

米(こめ)っこカフェ開催！　7月29日（土）子ども食堂　圓通寺

【調理チーム】

【接客チーム】

　私は、昨年度の米粉コンクールで初めて米粉を使った料理を食べました。米粉のスイーツはモチモチで美味しく、もっと広く米粉の魅力を知ってほしいと思いこの活動に参加しました。試行錯誤の連続で、高校生活3年間の中で、最も刺激的で充実した経験になりました。この取り組みを通して、積極性、課題解決能力、臨機応変に対応する力を身に付けることができました。 ありがとうございました。　3年リーダー　川村　友紀

家庭クラブ新聞

HR掲示用
第７号
令和５年８月４日発行

米（こめ）っこカフェ　人と関わること・人とつながること

お客様からのメッセージの一部を紹介します。帰り際に「ごちそう様でした」「おいしかったです」とお声をかけてくださる方もいて、何より嬉しかったです。温かい言葉や応援メッセージをたくさんいただき、人と関わることや、人とつながることの大切さを改めて実感しました。みなさんからの声を今後の活動に生かしていきたいです。

【お客様からの応援メッセージ】

お越し下さった皆様、この活動にご協力くださったすべての方々に感謝いたします。ありがとうございました。